

第 2 3 回足立区住宅政策審議会 議事抄録
(平成 2 8 年 7 月 2 6 日)

[目指すべき姿・基本目標について]

項番	内容	事務局対応
1	・目指すべき姿、基本目標について、仮置きということで企画部会に一任し、具体的に掘り下げて議論する。	・企画部会に一任されたことを受け、企画部会の中で具体的な検討を行う。 部会資料 8
2	・基本目標では、子供やファミリーを増やしていくことを一番目に掲げているが、住生活マスタープランに変わるため、そういう視点は十分にありうる。	
3	・基本目標の言葉の中に、世代間交流という言葉を入れてはどうか。	
4	・基本目標に到達するにはどうすればいいか、もう少し具体的なイメージが膨らむような目標になるといい。	
5	・基本目標 1～4 をそれぞれ「ひと」「暮らし」「まち」「行財政」というキーワードでまとめているが、もう少し住まいとの関連を明確にした方が、今後マスタープランを作っていくときに整理しやすいと思う。	
6	・今後議論を進めいくと、基本目標 1～4 について、達成すべき成果指標を検討する必要がある。その時に、足立区全体で達成すべき目標と、各地域で達成すべき目標は違って良い。 ・地域ごとの特色を生かし、その住宅地としての魅力を高めていく。地域ごとに解決しないといけない問題はあるが、足立区全体が平均的に同じような地域になるのは、むしろ地域の魅力を損なう。	・地域別の分析資料に、年齢別人口の推移を追加した。 部会資料 7
7	・地域別の人の出入り（新陳代謝）を指標としてみると、住宅政策としてどこに着目していけばよいか見えてくると思う。 ・公的賃貸ストックの建替え可能性、マンションや空き家の実態調査結果など、地域別でこれから変わりうる要素あるいは停滞をもたらす要素をきめ細かに見ていくと、的確な議論ができると思う。仮説でもいいが、地域別の傾向の分析が必要だと思う。	

[具体的な施策・取り組みについて]

目指すべき姿・基本目標について審議する中で、具体的な施策や取り組みに關していただいたご意見を、項目ごとに整理させていただきました。目指すべき姿・基本目標と合わせて、企画部会の中で検討を行います。

項番	内容
三世代近居・同居に関するご意見	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・親を子供たちで面倒を見る近居というシステムを住生活の中から生み出していく。 ・三世代住宅を増やすことは、待機児童の解消策にもなる。偏在している公営住宅を資産として考え、三世代住宅のモデルとして公共住宅をうまく活用する。
福祉・教育など他部局との連携に関するご意見	
9	<ul style="list-style-type: none"> ・足立区は基本的な教育をきちんと行う区だということを、区のイメージとして掲げ、住宅側から発信できないか。 ・福祉や教育など、他部局との連携の中で、横串を入れて総合的に住宅政策を展開する。 ・他の部局とも協働して、暮らしを支えるプランにしてほしい。
空き家対策に関するご意見	
10	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家問題に関して、京都市ではまちぐるみの取り組みで無接道家屋の建て替え等を進め、新たな人も入ってきている。 ・不動産屋が空き家を時々見に行って管理してくれるサービスがある。足立区はコミュニティの見守りの先進区なので、そういうことも考えていけるといい。
住宅・住宅地の魅力づくりに関するご意見	
11	<ul style="list-style-type: none"> ・足立区の住宅・住宅地の魅力を紹介するまちづくりマップを作成するなど、色々な企画の積み重ねにより地域の良いところを発見し、それが地域の魅力づくりにつながるというサイクルができるといい。 ・大学の数も増えて足立区を楽しむ若い世代が増えている。世帯形成をするときに区内で居住地を見つけてそれが循環していくようなストーリーをどうやって考えていくか。 ・観光の視点としてまちの特色をぐっと打ち出し、住みたくなる足立というイメージになるといい。
生活の質の向上に関するご意見	
12	<ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅を推奨するなどして、生活の質を向上できるような住生活マスタープランになるといい。
マンション対策に関するご意見	
13	<ul style="list-style-type: none"> ・マンション管理条例や、環境に配慮したマンションについては、今後さらに検討を進めてほしい。
低所得者対策に関するご意見	
14	<ul style="list-style-type: none"> ・住んでみたいと思うには、低所得者対策として公営住宅を増やすということが必要。家賃補助を行えば、空き家対策にもなる。

公共住宅に関するご意見	
15	<ul style="list-style-type: none"> ・団地を自分の故郷だと感じる世代が増えてきている。足立区で長年にわたり団地生活をされた世代がもう一度戻ってきたいと思えるような地域ブランドづくりは重要になる。 ・公的賃貸住宅で大規模な改修や建て替えをするときに、生活支援施設等を組み込んで地域の住宅地としての魅力を高めていく。 ・公的賃貸住宅のソーシャルミックスをどうやって実現していくか。健全な地域コミュニティを支えるあり方というのは、このマスタープランの中で議論したい。 ・都営住宅ストックをいかに活用していくかということは非常に重要で、建て替えによって生み出される創出用地を地域で活用できるようにしていきたい。

[その他について]

項番	内容	事務局対応
16	・花畑地域の空き家率の内訳は分かるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域別の分析資料に、戸建て住宅と共同住宅の空き家の内訳を追加した。 <u>部会資料 7</u>
17	・既にある公的住宅ストック整備計画がどこまで実現できて、今後はどう実現していったらいいのか。計画案のたたき台をベースにしながら、例えばどんな近居のスタイルが足立区にあっていいのか、具体的な提案と見直しもあるといい。	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの公共住宅に関する検討経緯を整理した。 <u>部会資料 9</u>